

①道の駅てんきてんき丹後



京都府最北の道の駅です。駅名「てんきてんき」は、この地域に古くから伝わる伝統芸能「竹野のてんきてんき」に由来しています。日曜日には地域住民による日曜市も開催されます。(問)0772-75-2525

②竹野神社



竹野神社は、9代開化天皇に仕えた竹野媛が天照大神を祀ったとされる神社で、麻呂子親王の鬼退治を伝える絵巻物も残されています。また、神社本殿が京都府の指定文化財になっている他、境内は環境保全地区に指定されています。

③神明山古墳



神明山古墳は日本海側最大級の前方後円墳で、全長は200m近くに及びます。古墳には2段の平坦部がみられ、かつてはこの平坦部に丹後独特の円筒型埴輪が並べられていました。古墳は国指定史跡になっています。田植えシーズンには、古墳の円墳部の頂上から「古代潟」を彷彿とさせる景色を見ることができ、古代のロマンを感じられます。

④大成古墳



大成古墳は古墳時代後期(6世紀末から7世紀初頭)の横穴式石室を持つ古墳群で、合計11基の古墳が確認されています。石室に使われている石材は、周囲の柱状節理の発達した安山岩が使用されています。

⑤立岩



立岩は高さ約20mであり、京丹後市でもシンボルになっている安山岩の巨岩です。垂直に延びた柱状節理が美しいことで有名です。鬼退治伝説に関わる伝承も残されており、古くから人々に親しまれてきました。竹野川が運んできた砂が砂州となり、離れ島になっていた立岩とつながっています。

⑥屏風岩展望台



海面から突然屏風のようにそびえる屏風岩は、柔らかい凝灰岩の地層中にマグマが入り込み、固結した安山岩が、その後、周りの地層が侵食により削り取られ、硬い安山岩の岩脈が取り残されて現在の姿となりました。屏風岩の沖合いにも数個の島がありますが、これらは全て一直線上に並んでいます。

番外：間人皇后・聖徳太子母子像



聖徳太子の母・間人(はしうど)皇后は政権の争乱を避け、間人(たいざ)に身を寄せたと伝えられています。この地を去る際、自らの名「間人」(はしうど)をこの地に贈りました。村人たちは恐れ多いことから、皇后の退座にちなんで読み方を「たいざ」にしたとされています。

番外：丹後温泉はしうど荘

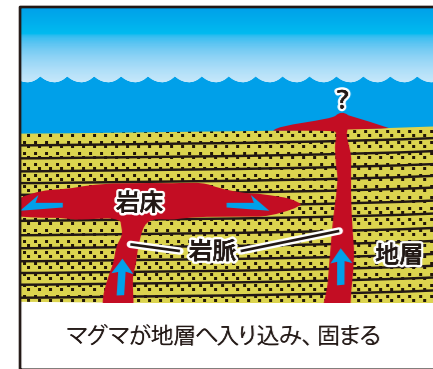


ナトリウム・カルシウム硫酸塩泉の良質な温泉です。日本海の波の音を聴きながらの入浴ができる露天もあり、日帰り入浴もできます。予約をすれば食事のみの利用も可能です。
*定休日：第2・4火曜日(8月は無休)
*入浴料：500円(大人) (問)0772-75-2212

ジオコラム①

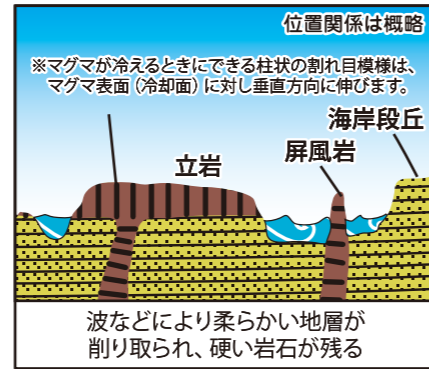
屏風岩と立岩＝「岩脈」と「岩床」

約1,500万年前



①今から約1,500万年前、海底で火山活動がはじまり、マグマが断層などの地層の割れ目に沿って、板状に縦に入り込みました。地層が柔らかいところでは、マグマは地層の積み重なりに沿って水平方向に、キノコの傘のように広がりました。その後、マグマは冷やされ、固まりました。

現在

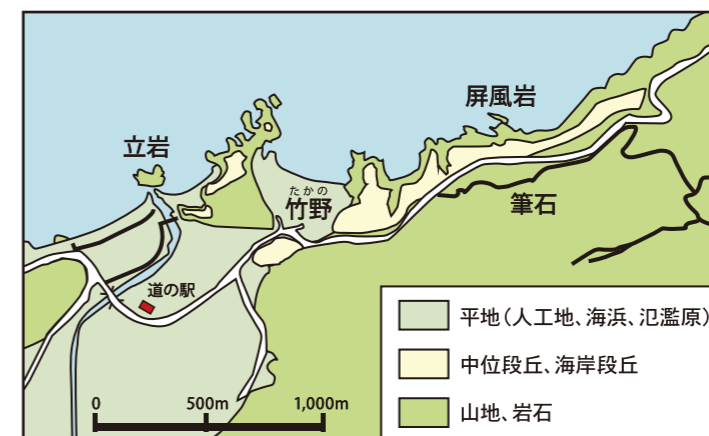


②海面が下がったり、地面が持ち上がると、波や風雨などによって地層が削られます。この時、マグマが固まってできた安山岩(火山岩の一種)は、周りの地層(砂岩や泥岩、凝灰岩など)より固かったので所々が削り残され、立岩や屏風岩になりました。屏風岩が板状なのは、マグマが地層の割れ目に沿って板状に入り込んだからです。

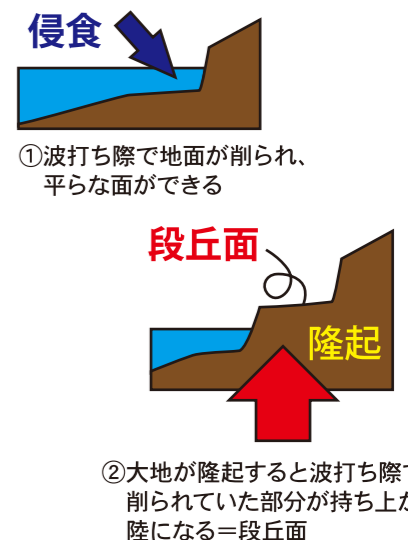
ジオコラム②

竹野付近の海岸段丘

約13万年前の最終間氷期に、1,500万年前の火山活動でできた岩石を削って海食棚ができ、その上に海岸の礫や砂泥が堆積しました。その地層が現在約20mくらいの高度にあり、海成の中位段丘堆積物と呼ばれています。



海岸段丘のでき方



クイズの答え

- ①: どちらも正解(現地までね。)竹野川が運んできた花崗岩質砂由来の砂州で離れ島となっていた立岩と陸地がつながっています。この砂州のことをトンポロ(陸繋砂州)といいトンポロにより立岩は陸繋島となっています。川のどちら側にトンポロができるのかは、川状況により変わります。
- ②: 2、清水寺の舞台(清水寺の舞台と同じ高さ13mです。ちなみに奈良の大仏は18mで、東寺五重塔は54.8mです)